



すえまっよしのり

末松義規

立憲民主党公認

決意

「どうすれば繁栄を取り戻し、生活を豊かにできるか？」

30年間考え続けた私の結論は、

「従来からの大金持ち優遇策ではなく、大多数の庶民の生活を、政府がしっかりとバックアップすること」

これこそが、莫大な消費力を生み出し、繁栄につながる道だ!!と確信しました!

それが、「最低賃金2,000円!」、「

「食料品の消費税率0%!」、「
「年金支給額のアップ!」の実現です!!

政権を変えれば、できる!!!

最低賃金を、5年以内に倍の

(月収30万円)

2,000円にアップさせる!!

中小企業の「上げ分」は、新政府が十分な補助金を出すので、ご安心を! (そうなれば、当然、一般の給料も軒並みアップするので、さっさと期待!)

食料品の消費税率を0%にする!!

(これらの財源については、

不公平税制の是正で毎年10兆円を確保できる)

日銀ETF(株保有)等の儲けで、

年金支給額をアップさせる!

●「新子ども手当」導入と、教育費無償化!

●インボイス強要制度を廃止(議員連盟会長)

●「自民党政権が決めた防衛費倍増」はやらない!

●憲法第9条を守る。安倍政権の安保法制を廃止!

●PFAS問題議員連盟会長として実行あるのみ!

●フクチン被害の救済と予防。賃金格差是正!

●紙の保険証も使えるようにする!

●日本の技術革新力・文化創造力を大幅強化。

●新エネルギーと脱原発化!

●裏金・金権・腐敗政治を一扫!

●地元の暮らしをもっと

便利に! もっと快適に!



プロフィール

1956 北九州市生まれ(東筑高校卒)

1980 一橋大学卒業、外務省に入省し、中東・湾岸危機等を担当
(アラビア語通訳の経験あり)、米国プリンストン大学院修士

2010 内閣府副大臣、2011年3.11直後に宮城県
現地緊急対策本部長、総理大臣補佐官(東日本
大震災、子ども子育て等担当)、初代復興副大臣

2021 衆議院選挙7期目当選(党の最低賃金検討チーム会長、
異例の5年間の財務金融委員会筆頭理事)